

～出雲市駅前通り（出雲市駅前矢尾線）のこれまで・これから～

1) 整備当初の様子

出雲市駅から北へ向かって伸びる道路（出雲市駅前矢尾線）は、地元商店街と自治会で組織する「中心市街地まちづくり協議会」が中心となり、どのような道路とするのがよいか、検討を進めました。その結果、道路の沿線を市民の皆さまが使えるような工夫がなされ、当初は地元商店街による花植え活動やオープンカフェ等、**沿線での活動も盛んに行われていました。**



施工者の名称	島根県	
都市計画事業の種類	出雲都市計画道路事業	
都市計画事業の名称	3・3・6 出雲市駅前矢尾線	
事業期間及び設計の概要	1工区	2工区
履行期間：自	平成9年2月19日	平成15年3月10日
：至	平成16年3月31日	平成21年3月31日
延長	240m	508m
幅員	25m（車道11m：2車線、歩道7m×2）	



2) FP（フラワーポット）大作戦

整備されてから約15年が経過し、商店街も高齢化が進みました。結果として当初のような活動も難しくなり、市民が花を植えて楽しめるようにと設置された車止め兼プランター（フラワーポット）には雑草が繁茂し、**ゴミが捨てられている状況**となっていました。

「駅前通りをもう一度使ってもらいたい！」その「復活」のための第1歩として、フラワーポットに再度花を植える**“FP大作戦”**を平成30年度から行ってきました。これは、出雲農林高校生が育てた花を、地元商店街と出雲県土整備事務所と協働してフラワーポットに植え、その後の水やり等の日常的な管理を地元商店街にさせていただくものです。この活動は、継続して行っており、令和3年度からは年2回（6月、11月）花を植え替えています。

R3年度活動の様子



3) 歩道空間の活用（宵machi出雲バル）

令和2年度には、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける飲食店を支援するため、出雲市商工会議所が主催となって「3密を回避することができる路上客席」が出雲市駅前通りの歩道空間に設置されました。

R2年度当日の様子



4) FPに関する三者協定の締結

出雲市駅前通り商店街振興組合、島根県立出雲農林高校、島根県出雲県土整備事務所の3者で、「主要地方道出雲市停車場線の車止め兼プランターの使用と維持管理に関する協定」を令和3年3月1日に締結しました。これからは地元、学生、道路管理者が協働してフラワーポットへの花植えや維持管理を継続して行っています。

出雲市駅前通り
商店街振興組合

・水やり等の日常管理

島根県立
出雲農林高校

・花の苗の準備
・土の準備

島根県
出雲県土整備事務所

・フラワーポットの修繕

□ 問い合わせ先

島根県 土木部 出雲県土整備事務所 維持管理部 大川

TEL: 0853-30-5635 FAX: 0853-30-5545